

令和4年度水源地域支援ネットワーク会議

宮ケ瀬ダムにおける水源地域 振興の取組について (コロナ洞における取組状況)

項番

- 1 宮ヶ瀬湖周辺地域・財団の成立ち及び財団の事業体系
- 2 コロナ禍の施設閉鎖・運営の影響
- 3 コロナ禍の工夫、取組状況
- 4 ポストコロナ時代の水源地域振興(取組方針)

令和 4年11月18日(金)

公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団



宮ヶ瀬湖周辺地域の成立ち

- 宮ヶ瀬ダム 昭和44(1969)年 ダム計画の発表
- 平成12(2000)年 宮ヶ瀬ダム竣工
- 宮ヶ瀬湖周辺の3拠点

■宮ヶ瀬湖周辺地域

平成 4(1992)年 宮ヶ瀬ダム貯水池周辺地域整備基本計画

水源地域として湖の水質及び周辺環境の保全を 最優先としつつ、周辺地域の振興や活性化を図る

⇒3拠点(宮ヶ瀬湖畔、鳥居原、ダムサイト・あいかわ公園)(こ 開発地域を限定し整備



AGASE 1-2 宮ヶ瀬ダムと周辺施設等の歴史的経過

宮ヶ瀬ダム	当財団設立や周辺施設の設置
昭和44(1969)年 ダム計画の発表 【約30年の歳月】 平成 3 (1991)年 ダム本体コンクリート打設開始	平成4 (1992)年 [30年の歳月]
平成12(2000)年 宮ヶ瀬ダム竣工 🗸	宮ヶ瀬ダム貯水池周辺地域整備基本計画の策定 財団法人宮ヶ瀬ダム周辺振興財団設立 平成7(1995)年 カヌー場設置 平成10(1998)年 やまなみセンター設置 平成11(1999)年 宮ケ瀬湖畔園地(集団施設地区)供用開始 水とエネルギー館設置 平成12(2000)年 鳥居原ふれあいの館設置 平成14(2002)年 あいかわ公園供用開始 平成21(2009)年 工芸工房村設置 平成23(2011)年 財団法人から公益財団法人へ移行 平成29(2017)年 日本版DMOに登録



公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団とは

設立日 平成4(1992)年10月

|出捐者 18団体(行政6、民間7、団体5)

基本財産 15億2千万円

当初は民法に基づき財団法人として設立

平成23(2011)年 公益財団法人へ移行

設立目的

設

立

県民の水源環境に対する理解を促進すること及び宮ヶ瀬湖周辺地域の活性化を推進することにより、都市と水源地域・人と自然の交流・共存による宮ヶ瀬湖周辺地域の振興と発展に寄与すること。



1-4 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団の事業体系

公益目的事業

不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与

水源環境の保全と理解促進

宮ヶ瀬湖憲章の理念に基づき、宮ヶ瀬湖周辺地域の豊かな自然環境の保全と秩序ある利用 の促進を図るため、水源地域の大切さや自然とのふれあいの大切さなどについての理解の促 進を図る。

宮ヶ瀬湖憲章の普及啓発、野生植物や昆虫などの自然観察会などの開催

地域活性化の推進

水源地域の活性化を図るため、3地区の拠点施設を中心に、豊かな自然資源や伝統工芸な どの地域資源を活用した魅力ある取組みにより、観光客等来訪者の増進により、地域活性化 を図る。

フェスタ、地元の人材やNPOと連携したカヌー教室・イベントなどの開催

収益事業等

公益目的事業を補完する従たる活動

財団の経営基盤の強化及び公益活動を充実するため、有料施設・乗物の運営・運行等を行う。

法人運営事業等

財団運営の重要事項を議決するため理事会・評議員会を開催し、環境保全、施設の活用、地 域活性化の促進を図るための企画・計画及び調整を行う。



LAKE MIYAGASE 2-1 コロナ禍での3拠点施設等の運営の状況





2-2 宮ヶ瀬湖周辺3拠点における施設利用者数の推移

区 分	宮ヶ瀬湖畔地区	ダムサイト地区	鳥居原地区	合 計
令和元年度	586,350	722,445	122,739	1,431,534
令和2年度	268,826	432,348	78,220	779,394
令和3年度	395,206	429,772	77,889	902,867

新型コロナの影響

- イベント等の開催制限、施設や乗物等の閉鎖・運休
- 感染状況が低く抑えられていた時期でも、参加者数や利用者数の制限
- ⇒ 150万人前後で推移してきた3拠点の施設利用者数が半減



3-1 コロナ禍での施設利用上の工夫

感染状況が低く抑えられていた時期でも、参加者数や利用者数を制限した 上、検温・手指消毒等の感染対策を十分に行い体験など実施

屋内体験施設等



工芸体験を希望するお客様が 利用状況が直ちにわかるよう カードで参加者を制限



アクリル板で対面者の保護





検温、消毒 ビニールの覆い LINEコロナ お知らせシステム



机の配置を分散 家族・小人数単位



使用の都度、消毒 利用者・職員が安心し て利用できる表示

クラフト体験 木の実を自由に選択 (不特定の方が触る)

⇒パッケージ商品化 ⇒季節ごとに変化 人気商品に変身





3-2 コロナ禍でのイベント等の事業実施

- 「3密を避ける」「一度に大勢の人を集めない」という前提
- 従来からの事業の実施方法や内容を工夫しながら実施

みやがせフェスタ	地域の観光資源をベースにミーヤくんなどのキャラクターが登場する写真が撮れるアプリを配信 SNSに写真投稿した方に、季節ごとに地場産品をプレゼントする新たな仕組みづくりを行い、分散型イベントとして実施
	YouTube番組「宮ヶ瀬愛ちゃんネル」により宮ヶ瀬湖 周辺地域の自然、グルメ、観光などの情報を発信
来訪者誘致・周遊促進	宮ヶ瀬湖周辺をロケ地にした全5話のオリジナルドラマ「サンキュービーバー宮ヶ瀬探偵事務所(仮)」を製作、YouTubeで発信するとともに、観光プロモーションに活用

公益財団法人 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団



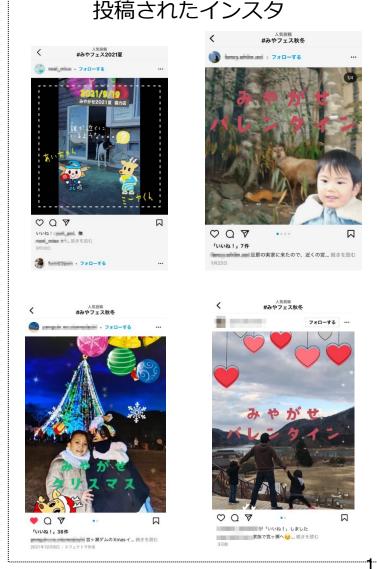
LAKE MIYAGASE 3-3 コロナ禍の「みやがせフェスタ2021」



参加者 10,745人



参加者 104,999人



地場産品、協力企業・団体からのプレゼント提供例



愛川町「あいちゃん米」

(東京) (東京



清川村「丹沢みそ」

清川村「丹沢滋黒軍鶏」



3-4 サンキュービーバー宮ヶ瀬探偵事務所(仮)制作



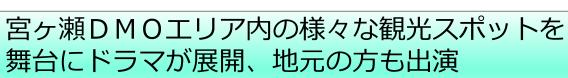


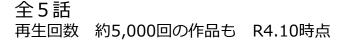
















LAKE MIYAGASE 3-5 コロナ禍のDMO地域連携事業

複数の市町村にまたがる地域連携 DMOとして官民や市町村の垣根を越え、広域的な調整機能を発揮した事業



小田急電鉄との共同企画バスツアー等 宮ヶ瀬湖近隣の3つの酒蔵をめぐる 「小田急まなたび日本酒会」



宮ヶ瀬湖周辺地域内にある寺社の宮 彫りの龍にターゲットを当てた 「宮ヶ瀬湖九龍めぐり」



地元酒蔵の日本酒をダム監査廊に貯蔵「ダム貯蔵酒」として地域での販売継続※「第10回かながわ観光大賞」 審査員特別賞を受賞(令和2年3月受賞)



WEB版「みやがせ検定」サイトを立ち上げ、宮ヶ瀬湖周辺地域の魅力を発信



LAKE MIYAGASE 4-1 ポストコロナ時代

宮ヶ瀬の秩序ある美しいオープン空間で、 散策やアクティビティを求める方は、着実に存在する。

第1ターゲット層 首都圏近郊の家族連れ客(今いる顧客を大切に) 第2ターゲット層 スポーツ・レクリエーション愛好者、体力づくり・健康志向派





















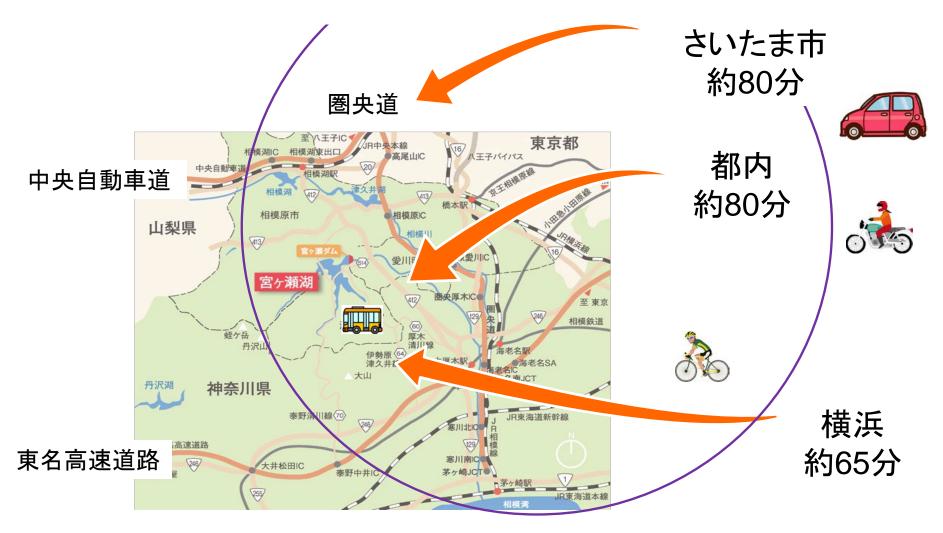


写真は R4年度に撮影したもの





宮ヶ瀬湖周辺地域の立地条件



電車・バスの公共交通機関は脆弱だか、道路網の整備により首都近郊の広域圏からもアクセスがしやすい

埼玉・東京から50~60キロ 横浜・川崎から30~40キロ



4-2 新たな周辺環境の変化・時代の要求

- 宮ヶ瀬湖に隣接して、最先端の科学技術であるリニア中央 新幹線の関東車両基地の整備が予定 (当初計画の2027年の開業は難しい状況)
- 豊かな生物多様性を保全し、 将来にわたって自然の恩恵を享受できる社会の実現







4-3 地域で創り上げてきた「宮ヶ瀬」を継承し、次代に引き継ぐ⇒持続可能な社会の実現が「地域活性化」

今改めて「宮ヶ瀬湖憲章」

- 1 清らかな宮ヶ瀬湖の水を、みんなで大切にしよう。
- 1 美しい宮ヶ瀬湖周辺を、みんなで守ろう。
- 1 宮ヶ瀬湖周辺の自然を、みんなで育て利用 しよう。
- 1 宮ヶ瀬湖の意義・歴史を忘れずに、みんなで後世に伝えよう。

平成10年4月29日制定 宮ヶ瀬湖憲章制定会議

SDGsの理念と共通・共鳴



経済と社会が持続可能であるためには、自然 資本がその必要条件であることが階層的に示 されており、生物物多様性を含む自然資本の 保全が他の目標を下支えしている。

「生物多様性民間参画ガイドライン」環境省作成 より抜粋



4-4 水源環境理解促進の戦略(取組方針)

■ 宮ヶ瀬の豊かな生物多様性を保全し、持続可能な社会の創り手を育み、恩恵を次世代に引き継いでいく「自然と共生した持続可能な宮ヶ瀬」に向けた取組の推進を目指す。





ダム建設の経緯や水資源 の大切さを学ぶ

> 水とエネルギー館 日曜レクチャー





4-5 地域活性化事業の戦略(取組方針)

■ 地域の観光資源にテーマを持たせ、SNSやAR技術を駆使した帯状分散型イベントの継続・発展

みやがせ花めぐり

サマーアドベンチャーみやがせ



さくら(清川村) つつじ(愛川町) あじさい(相模原市)

「花をテーマ」に AR写真をインスタ 投稿、地元の名産品 プレゼント







テーマ性のあるフェスタを通じた地域との連携や、市町村事業への協力

みやがせオータムパーティ

みやがせフェスタ 2022 秋 3日 多肉植物寄せ植え数室 6日 ツル細工教室 13 日 ナチュラルリース教室/寄せ植え教室 20日 ナチュラルリース教室 23日 ナチュラルリース教室





写真の撮影スポット 水の郷プロムナード ミーヤ館、やまなみセンター



写真投稿で、地域の名産品地域クーポン券プレゼント

鳥居原ふれあいの館、宮ヶ瀬水の郷



オリジナル手ぬぐい 「MIYAGASE」が隠し文字 AR写真投稿、地元イベントでPR配布

宮ヶ瀬ダムナイト放流







ミーヤ館でオリジナルグ ッズの販売(他に子供向 けのグッズ出店が無く大 人気)、あいかわ公園の 駐車場対応、応援要員の 派遣など 愛川町と連携



LAKE MIVAGASE 広い園地を活用した民間企業・団体等が行 う魅力的なイベントとの連携・協力等

民間企業等が宮ヶ瀬湖周辺に整備された施設を利用した大規模イベントを行う際に、県などへの許可申請手続き、園内利用調整、地元商店街の利用促進などが円滑に進むよう施設利用の案内や相談対応、連携・協力を行う。

宮ヶ瀬夏祭り



クラフト体験 乗物 グラススライダー などの提供

周辺駐車場との連 携・協力



やまなみセンター 夜間オープン





Dogフェスティバル





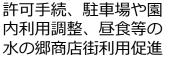
ミーヤ館でDog関連商品販売

自転車・車・無線等の様々なイベント















宮ヶ瀬湖周辺の周遊性を向上させる

AIオンデマンドバスの実証実験の推進

宮ヶ瀬湖周辺の3拠点に点在する観光スポットを巡る周遊性を向上させるため、AI技術とスマホアプリを活用して、利用者からの要求に応じ、観光スポットなどをめぐる「AIオンデマンドバス」の実証実験を推進する。(県からの受託事業)



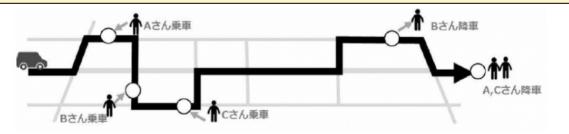
市町村をまたがる8箇所に乗降ポイント







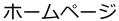
AI技術を使い、配車リクエストに応じて随時経路を変えながら運行





4-6 情報発信、情報化の推進戦略(取組方針)

広域圏へ宮ヶ瀬の魅力を発信するSNS等による情報 発信を一層充実し、水源環境理解促進や地域活性化 の推進を図る。













車内吊り広告・カレンダー、 テレビ取材等









【予告編・ダイジェスト版】 宮ヶ瀬オールロケのwebドラマ!ドロンズ石本&川 畑光瑠W主演

【サンキュービーバー~宮ヶ瀬探偵事務所(仮)】

